

- 地域の魅力を更に高め、産業・交通・生活基盤等の整備により、北関東・磐越地域の今後の発展と自立を目指す。
- 首都圏と東北・北陸地方との結節点であり、太平洋・日本海に開けている地域の利点を最大限に活用する。

1 地勢

- ・首都圏と東北・北陸地方との交流の結節点(太平洋・日本海に開かれた地域)
- ・北関東・磐越地域5県の総面積は約45,233km²(日本国土の約12%)
(北関東・磐越地域の全面積のうち、半分以上は森林地帯を抱える)
- ・栃木・群馬・福島・新潟の県境山間部を中心に豪雪地帯を抱える

2 人口

- ・北関東・磐越地域は、人口約1,100万人が居住し、広大な面積を有する。しかし、人口密度は全国平均より低い
(茨城県は全国平均以上)
- ・北関東・磐越地域の人口は既に2000(H12)年をピークに減少(北関東は2005年から人口減少 磐越は5年早い2000年から減少)
- ・茨城県・福島県・新潟県は既に2000年をピークに減少。栃木県・群馬県は2005年をピークに減少
- ・北関東・磐越地域においても人口20万人以上の都市が多数存在している
- ・今後はほぼ全域で人口が減少
- ・既に全域で人口の転出増加(流出)となっている
- ・北関東・磐越地域の5県ともに、急激に高齢人口が増加している
- ・北関東・磐越地域の高齢化率(高齢者/総人口)は、各県境部の山間地で高い
- ・北関東・磐越地域の都市部で高齢者人口が増加する(2005(H17)→2030)
- ・北関東地域の外国人人口は全国でも比較的上位クラス(2005(H17))
- ・北関東地域で増加している外国人人口
- ・北関東・磐越地域の都市部に多い外国人人口

3 産業

1) 産業

- ・農業の生産拠点である北関東・磐越地域(全国農業産出額の15%以上のシェア)
- ・増加する耕作放棄地面積と減少する経営耕地面積
- ・中国・四国圏を上回り、近畿圏に迫る北関東・磐越地域の製造品出荷額
- ・北関東・磐越地域では、地域の中核拠点都市などで製造品出荷額が高い
- ・中国・四国圏に匹敵する年間商品販売額[卸売・小売計]のシェア

- ・北関東・磐越地域では、地域の中核拠点都市などで商品販売額が高い
- ・近年減少傾向の年間商品販売額[卸売・小売計]
- ・北関東・磐越地域では、茨城・群馬県の一部で情報通信業への特化度が高い市町村がある
- ・北関東・磐越地域では、県庁所在地の都市や北関東の南部で運輸業への特化度が高い
- ・近年の工場立地の9%が北関東へ立地している
- ・工業団地が北関東自動車道沿線に立地している
- ・近年製造業の新規工場が増加傾向である
- ・山間部を除きほぼ全域で内陸型製造業の特化度が高い地域が広がる
- ・北関東・磐越地域では、山間部を除きほぼ全域で農業産出額の比率が高い
- ・北関東・磐越地域では、ほぼ全域で農業への特化度が高い
- ・中山間部は林業への特化度が高い
- ・茨城・福島・新潟県の沿岸で漁業への特化度が高い。内陸部に点在する河川・湖沼等における内水面漁業も存在

2) 観光

- ・北関東・磐越地域においては、訪問の価値のある観光地として2箇所(全国32箇所)のみとなっており国際的な評価は高くはない
(外客来訪促進計画に基づき、訪日外国人旅行者の来訪を促進している)
- ・北関東・磐越地域は、温泉など観光地を抱え、宿泊施設・延べ宿泊者数ともに少なくはない
- ・外国人延べ宿泊数は、全国平均を下回る
- ・北関東・磐越地域の中山間部は、観光等により飲食店・宿泊業への特化度が高い
- ・北関東・磐越地域でも国宝・重要文化財指定件数は建造物170件、美術工芸品も150件ある
- ・北関東・磐越地域で育む伝統工芸品(26品)を有する
- ・北関東・磐越地域にも重要伝統的建造物群保存地区(3地区)があり、地域の文化・歴史の保存に対する取組みが盛んである
- ・北関東・磐越地域には世界遺産:1件、暫定リスト:1件、候補地:4件ある
- ・北関東・磐越地域から五街道・脇街道等の歴史街道が他圏域に延びている
- ・北関東・磐越地域にも多数の名水【名水百選】が存在する

4 暮らし

1) 医療

- ・北関東・磐越地域の主な都市に配置されている第三次救命救急施設(アクセス圏域)
- ・北関東・磐越地域における一人当たりの年間総額医療費は全国平均並み
- ・人口当たりの病床数は全国平均並み、医師数は全国平均に比べ低い
- ・小児科、産婦人科がある病院数は年々減少している

2) 商業

- ・大型小売店舗は幹線道路沿いに立地している(商業施設からのアクセス圏域)

3) 教育

- ・大学等高等教育施設は主な地方都市に立地している(教育施設等からのアクセス圏域)

4) 生活

- ・地域の中核拠点都市等を中心に雇用の密接な関係が形成されている
- ・東京圏の分担率の2倍と極めて高い北関東・磐越地域の車依存
- ・各県とも9割以上が自動車に依存
- ・全国トップクラスの世帯当たり乗用車保有台数
- ・暮らしの観点(医療・商業・通学)のアクセス圏が重複するエリアは、地域の中核拠点都市を中心に広がっている
- ・北関東・磐越地域では、最低居住水準以上の世帯率は全国平均を上回る。1住宅当たり延べ面積も広く居住水準は相対的に高い
- ・北関東・磐越地域で全国平均を下回る下水道普及率

5 エネルギー

- ・首都圏の電力の5割を北関東・磐越地域から供給している

6 環境

- ・光化学オキシダントの注意報の発令は、茨城・栃木・福島県でも発生している
- ・北関東・磐越にも4つの国立公園など豊かな自然がある
- ・首都圏との関係が深い産業廃棄物の広域移動状況(中間処理)
- ・首都圏で広域的に移動する産業廃棄物【広域移動状況(最終処分)】

7 災害

- ・全国で地震、台風など自然災害が頻繁に起きているが、北関東・磐越地域は相対的に被害リスクが低い
- ・北関東・磐越地域については、地震のリスクは低い

8 交通

○太平洋・日本海に開けた、北関東・磐越地域

1) 港湾

- ・高い増加量を示す新潟港の海上コンテナ取扱量
- ・伸び悩む港湾取扱貨物量の推移
- ・新潟港 品目別輸出入の内訳[平成17年]輸入は東南アジア、輸出は東アジア
- ・直江津港 品目別輸出入の内訳[平成17年]輸出・輸入ともに東アジア
- ・相馬港 品目別輸出入の内訳[平成17年]輸入品はほぼ石炭、輸出は東アジア
- ・小名浜港 品目別輸出入の内訳[平成17年]主な輸入品は石炭、輸出は東アジア
- ・日立港 品目別輸出入の内訳[平成17年]輸入の半分は自動車
- ・常陸那珂港 品目別輸出入の内訳[平成17年]輸入品はほぼ石炭、輸出は欧州・北米
- ・鹿島港 品目別輸出入の内訳[平成17年]主な輸出は東アジア

2) 空港

- ・福島・新潟空港の航空輸送は減少傾向となっている
- ・約9割が国内線の福島空港。約2割が国際線の新潟空港
- ・空港着陸回数で全国16位の新潟空港、35位の福島空港
- ・乗降客数で全国24位の新潟空港、34位の福島空港
- ・貨物取扱量で全国34位の新潟空港、44位の福島空港

3) 鉄道

- ・首都圏との関係が深い動脈の新幹線(地域内の東西関係が弱い鉄道網)

9 新たな公

- ・北関東・磐越地域においても、NPO法人の認証件数が増加しているが、人口あたりの認証件数は全国平均に比べ低い
- ・土砂災害防止に関するボランティア活動が行われている
- ・地域住民・NPO・大学等が連携し、多文化共生への取組が実施されている
- ・世界各地の都市と姉妹・友好都市提携を結んでおり、国内においても他の圏域の都市との連携も盛んである
- ・北関東・磐越地域では、既に一部の地域で広域的な連携に取り組んでいる(FIT構想)
- ・観光をテーマにした地域づくりに地域住民・NPO等が取り組んでいる
- ・河川の流域での上流と下流地域間で地域住民・NPO等が行政と共同して連携に取り組んでいる

新しい北関東・磐越地域の連携に向けたテーマ（イメージ）

- 1 **太平洋・日本海のゲートウェイを活かした国際競争力の強化**
 - 北関東・磐越地域の内陸部に集積している産業を活かした国際競争力強化
 - ・北関東・磐越地域 内陸型産業集積・連携 等

- 2 **働きやすく・ゆとりある暮らしの実現**
 - 地域資源の活用による活性化
 - ・北関東・磐越地域 日本の原風景（田園・山村・漁村）保存・整備
 - ・北関東・磐越地域 歴史街道再生整備による地域連携 等
 - 地域医療
 - ・北関東・磐越地域 医療連携 等
 - 北関東・磐越地域における農業の担い手づくり
 - ・北関東・磐越地域 都市部との交流促進 等
 - 中山間部地域や地方拠点都市等における市街地のスプロール化対策
 - ・北関東・磐越地域 コンパクトシティ推進 等

- 3 **安全な生活が保障される災害に強い国土管理**
 - 災害リスクに応じた集積する都市機能等のあり方，広域防災対策，国土保全と防災対策
 - ・北関東・磐越地域 災害対策連携 等

- 4 **環境の保全・創出**
 - 自然環境の保全・再生
 - ・北関東・磐越地域 自然環境・生態系保全対策の推進 等

- 5 **交流・連携・互恵**
 - 他の地域との相互交流・連携の推進
 - ・北関東・磐越地域における観光交流・連携 等
 - 「新たな公」による地域づくり、担い手の確保
 - ・北関東・磐越地域 多文化共生地域づくり推進 等